

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-4

< 第1週 > 水痘、流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は増加した / その他最新動向



注目すべき感染症
P.5-6

< インフルエンザ >

第1週の定点当たり報告数は全国レベルで6.8となり、報告数はさらに増加している



病原体情報
P.7-10

インフルエンザウイルス 2005/06シーズン / 冬季の感染性胃腸炎関連ウイルス 2005/06シーズン / ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2005年



速報
P.11

アイチウイルスが検出された食中毒事例 - 大分県



海外感染症情報
P.12-15

トルコでの鳥インフルエンザ流行 / 中国での鳥インフルエンザ流行 / インドネシアの鳥インフルエンザ流行状況 / ポリオの流行状況



感染症の話
P.16

< 今週はお休みです >



読者のコーナー
< 今週は該当記事はありません >



グラフ総覧(1週)
P.17-23



1週のデータ
P.24-35



発生動向総覧

*「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(平成15年11月5日施行)により、対象疾患、分類が一部変更されました(2003年第43号「速報」参照)。

<第1週コメント> 1月13日集計分

全数報告の感染症

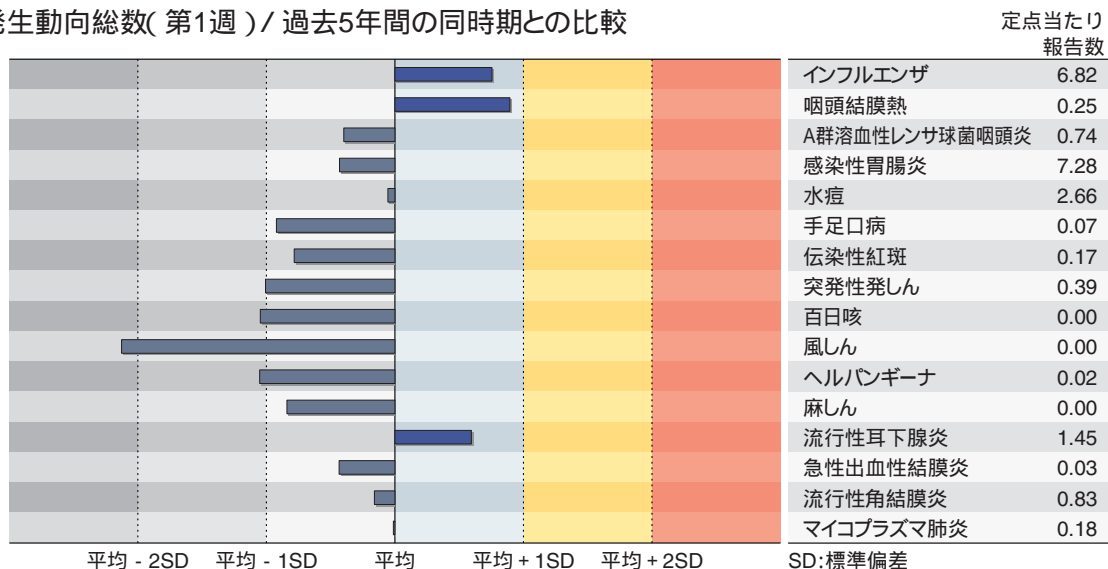
注意:これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が集計の期日以降に届くこともあります。それらについては発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることとなります。宜しく御理解下さい。

- 1類感染症: 報告なし
 - 2類感染症: コレラ 2例(推定感染地域: とともにフィリピン)
細菌性赤痢 6例(推定感染地域: 国内1例、インド4例、インドネシア1例)
腸チフス 1例(推定感染地域: インド)
 - 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症 6例(うち有症者4例)
血清型・毒素型: O157 VT1・VT2(4例)、O91 VT1(1例)、その他(1例)
 - 4類感染症: オウム病 1例(推定感染源: オウム/インコ/ハト)
つつが虫病 1例(宮崎県)
マラリア 1例(原虫種不明__推定感染地域: ナイジェリア)
レジオネラ症 2例(40代1例、70代1例)
A型肝炎 1例(推定感染地域: 国内)
 - 5類感染症: アメーバ赤痢 1例(推定感染地域: 不明、推定感染経路: 不明)
クロイツフェルト・ヤコブ病 1例(孤発性)
劇症型溶血性レンサ球菌感染症 2例(30代1例(死亡)、50代1例)
後天性免疫不全症候群 4例(無症候2例、AIDS 2例)
推定感染経路: 性的接触4例(異性間2例、同性間2例)
推定感染地域: 国内3例、不明1例
急性脳炎 1例
〔A型インフルエンザウイルス/単純ヘルペスウイルス(2歳)〕
- (補)他に、ジアルジア症5例の報告があったが、削除予定。また、報告遅れとして、コレラ1例(推定感染地域: フィリピン)、バンコマイシン耐性腸球菌感染症2例(遺伝子型: VanC 1例__菌検出検体: 胸水、遺伝子型: 不明1例__菌検出検体: 尿)、急性脳炎2例(ともに病原体不明(5歳、30代))の報告があった。

定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

発生動向総数(第1週)/過去5年間の同時期との比較



当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)との差をグラフ上に表現した。

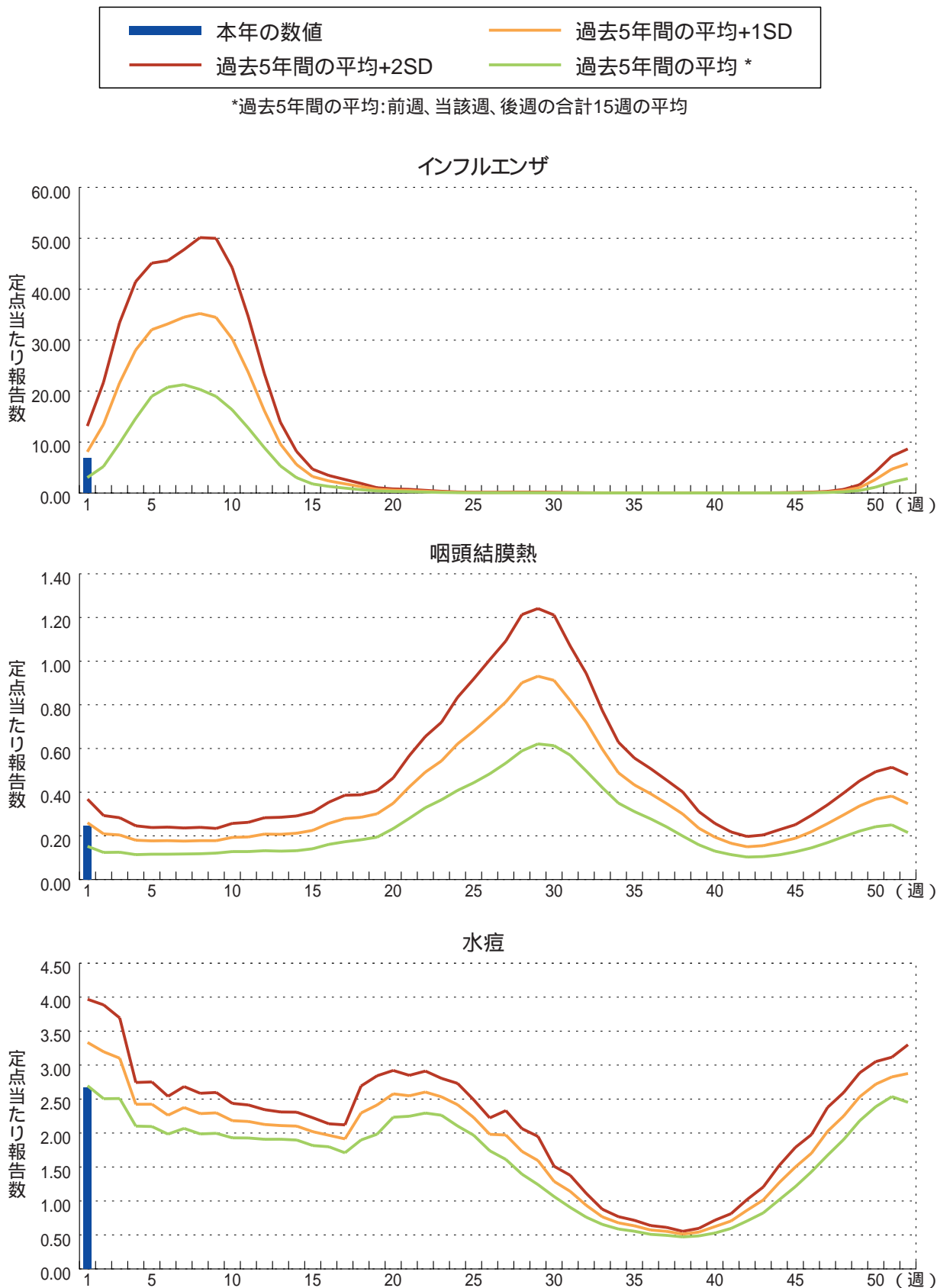
インフルエンザ: 定点当たり報告数は第45週以降、増加が続いている。都道府県別では宮崎県(26.9)、岡山県(24.9)、福岡県(21.1)、香川県(19.6)、鹿児島県(14.7)、佐賀県(12.5)、山口県(11.9)が多い。

小児科定点報告疾患: 咽頭結膜熱の定点当たり報告数は3週連続して減少した。都道府県別では福井県(1.45)、岐阜県(1.11)、島根県(0.83)が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別では鳥取県(1.6)、新潟県(1.5)、山口県(1.3)が多い。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別では福井県(16.7)、大分県(16.7)、愛媛県(15.8)が多い。水痘の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では福岡県(4.5)、石川県(4.4)、鳥取県(4.4)、熊本県(4.3)が多い。手足口病の定点当たり報告数は減少傾向が続いている。都道府県別では愛知県(0.24)、三重県(0.22)、岐阜県(0.21)が多い。伝染性紅斑の定点当たり報告数は微増した。都道府県別では島根県(1.30)、鳥取県(0.74)、青森県(0.71)、福島県(0.71)が多い。百日咳の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では秋田県(0.06)、大分県(0.03)が多い。風しんの定点当たり報告数は減少した。都道府県別では宮城県(0.02)、神奈川県(0.01)が多い。麻しんの定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別では群馬県(0.02)が多い。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では鳥取県(5.1)、沖縄県(5.0)、大分県(4.0)、長野県(3.6)が多い。RSウイルス感染症は、ゼロ報告を含めて45都道府県から984例の報告があり、報告数は減少した。年齢別では、1歳以下の報告数が全体の約84%を占めている。

基幹定点報告疾患: マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は第49週以降、減少が続いている。都道府県別では秋田県(1.6)、青森県(1.0)、福島県(1.0)、大阪府(1.0)が多い。

(補)茨城県からの麻しんの報告は取り消し予定である。

図. 主要定点把握疾患の過去5年間との週別比較(2006年第1週)
 青のバーで示す本年の定点当たり報告数が赤のラインを超えているときには、過去5年間の週と比較してかなり多いことを示す。





注目すべき感染症

インフルエンザ

第1週のインフルエンザの定点当たり報告数は全国レベルで6.8(報告数31,643)となり、報告数はさらに増加している(図1)。都道府県別では宮崎県(26.9)、岡山県(24.9)、福岡県(21.1)、香川県(19.6)、鹿児島県(14.7)、佐賀県(12.5)、山口県(11.9)、滋賀県(10.6)、熊本県(10.5)、鳥取県(9.9)が多い。定点当たり報告数が5.0を超えたのは25府県に上っており、西日本が多数を占めている。

管内の定点当たり報告数が注意報レベルのみを超えているのは105保健所(29都道府県)とさらに増加し、警報レベルを超えているのは13保健所(5府県)となっている(感染症情報センターホームページ:「インフルエンザ流行レベルマップ」第1週参照)。

インフルエンザウイルスの分離については、今シーズンは第36週以降これまでに343件の報告があり、そのうちAH1型は65件(19.0%)、AH3型は276件(80.5%)、B型は2件(0.6%)であった(図2)。この様にAH3型ウイルスの分離報告が多く、次いでAH1型であり、昨シーズン流行の主流を占めたB型の報告は少数にとどまっている。

今後インフルエンザの流行はさらに本格化してくるものと予想され、その発生動向の推移にはより一層の注意が必要である。

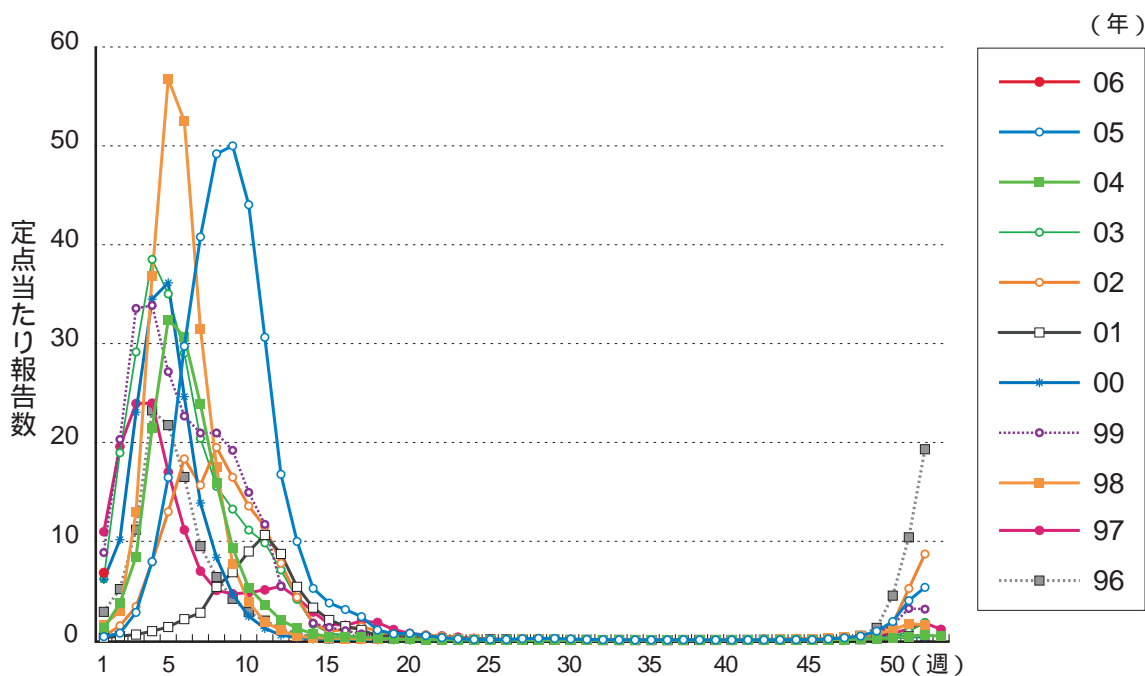


図1. インフルエンザの年別・週別発生状況(1996～2006年第1週)

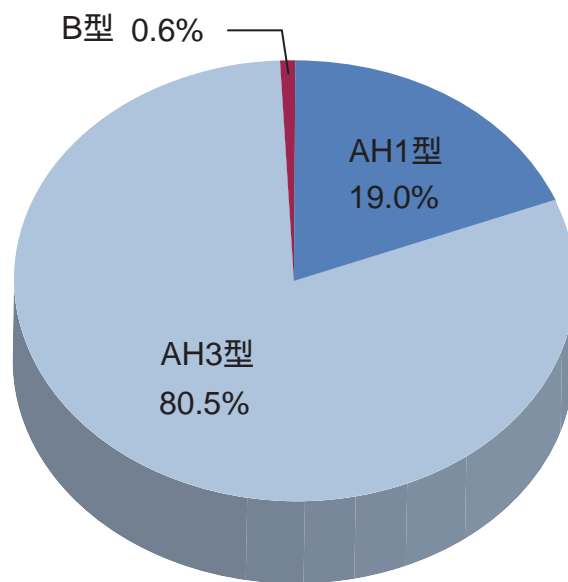


図2. 2005/06シーズンにおけるインフルエンザウイルスの分離結果



病原体情報

* グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。

各都道府県市の地方衛生研究所(地研)からの検出報告です。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

(2006年1月13日現在報告分)

インフルエンザウイルス 2005/06シーズン

今シーズンは前シーズンに比べ、ウイルス分離報告の立ち上がりが早い。

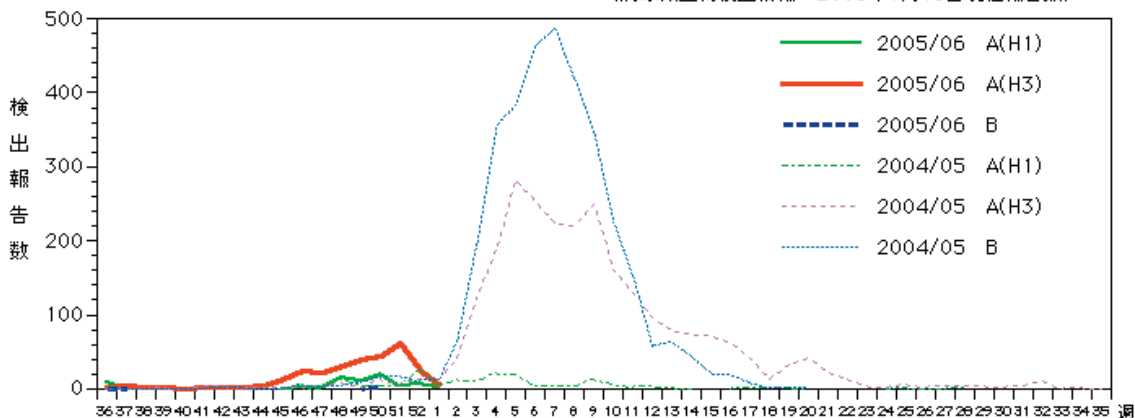
AH3型は第36～44週に計17件の分離が報告されたあと、第45週以降、全国各地からの報告が増加しており、第36週からの累計では32道府県から計276件の分離が報告されている(この他、PCRで東京都2件、山形県、佐賀県各1件検出)。

AH1型は第36週に東京都で2件の分離(この他、PCRで6件検出)が報告されたあと、第46週以降報告が続いており、第36週からの累計では13都府県から65件が報告されている。

B型は第50週に神奈川県と大阪府から、今季初の分離が報告されている。

週別型別インフルエンザウイルス分離・検出報告数の推移、2005/06シーズン

(病原微生物検出情報：2006年1月13日現在報告数)



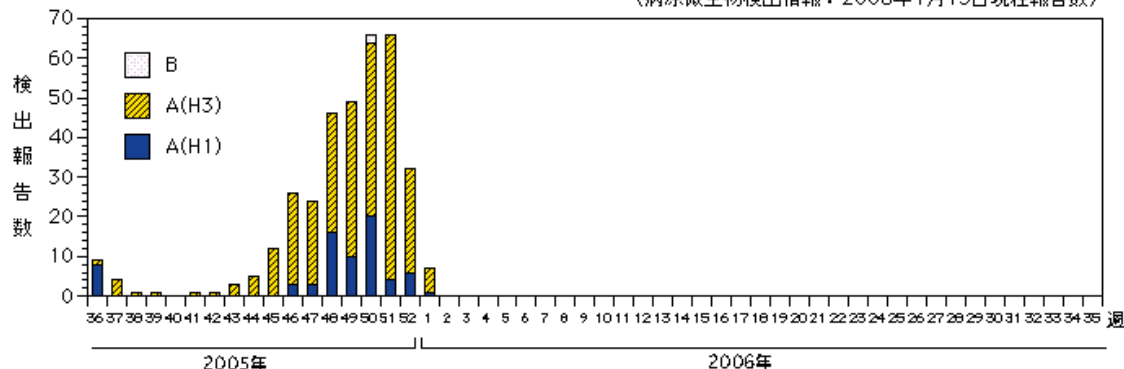
各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を週に示した。



Infectious Agents Surveillance Report

週別インフルエンザウイルス分離・検出報告数、2005/06シーズン

(病原微生物検出情報：2006年1月13日現在報告数)

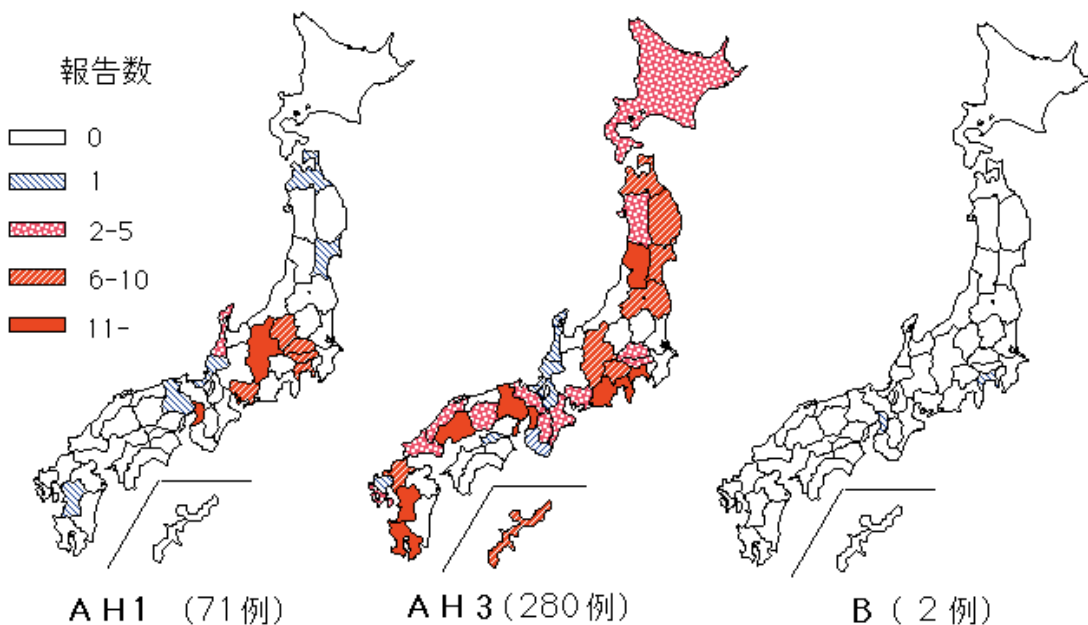


各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を週に示した。



Infectious Agents Surveillance Report

都道府県別インフルエンザウイルス分離／検出報告状況、2005/06シーズン
 (病原微生物検出情報：2006年1月13日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離／検出報告を図に示した。



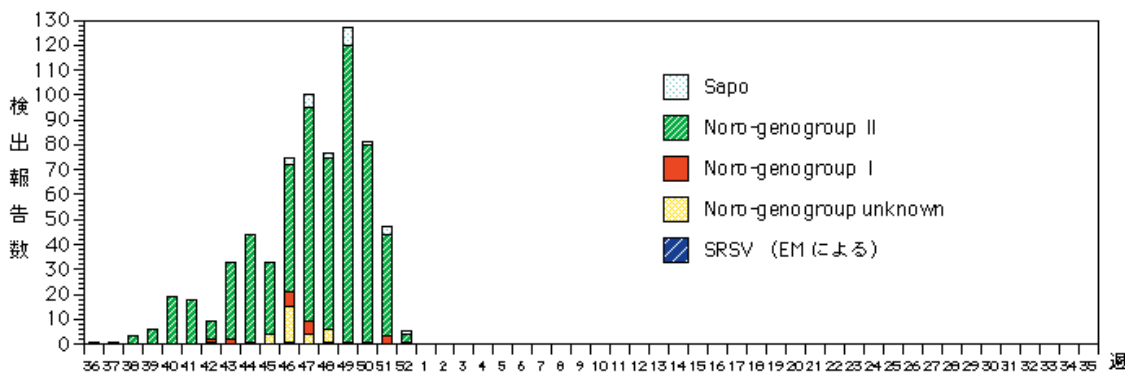
Infectious Agents Surveillance Report

冬季の感染性胃腸炎関連ウイルス 2005/06シーズン

ノロウイルスgenogroup IIの検出が増加しており、第37～52週に大阪府85件、滋賀県75件、岩手県71件、秋田県68件など、27府県から計606件報告されている。また、genogroup Iの検出が愛媛県12件、大分県、香川県各2件、秋田県、新潟県、静岡県、大阪府、島根県各1件、計21件報告されている。この他、genogroup unknownの検出が東京都21件、奈良県8件、計29件報告されている。

サポウイルスは第46～52週に愛媛県で12件、熊本県で5件、宮城県で2件、三重県、大阪府各1件、計21件検出され、A群ロタウイルスは第43～51週に愛知県4件、東京都、高知県各2件、大阪府、奈良県、熊本県各1件、計11件検出されている。

検出されたSRSVの内訳、2005/06シーズン (病原微生物検出情報：2006年1月13日現在報告数)



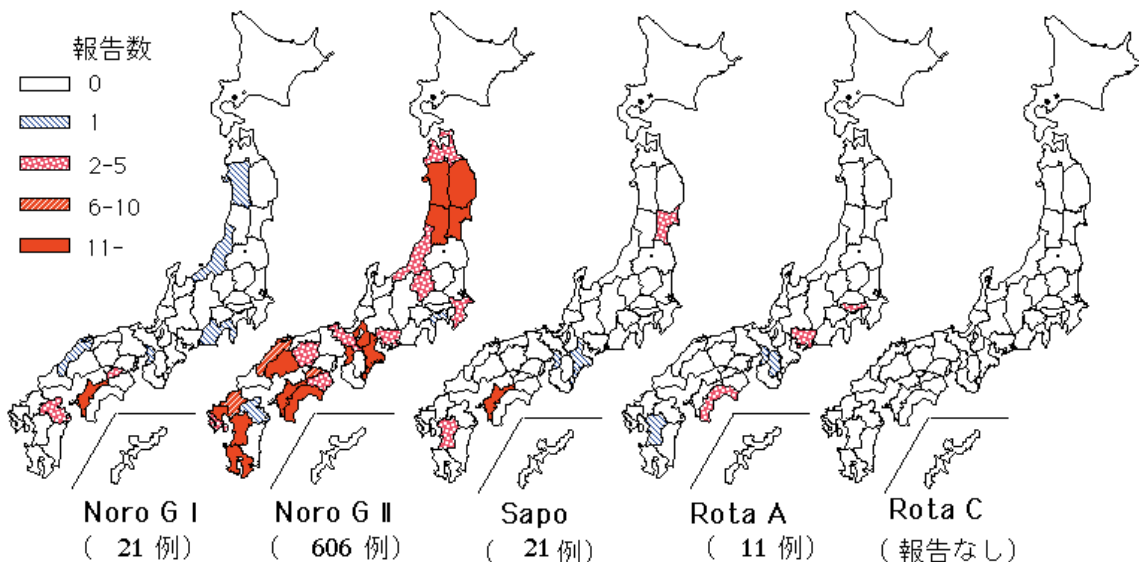
各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report

都道府県別ノロウイルス、サポウイルス、ロタウイルス検出報告状況、2005/06シーズン

(病原微生物検出情報：2006年1月13日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。

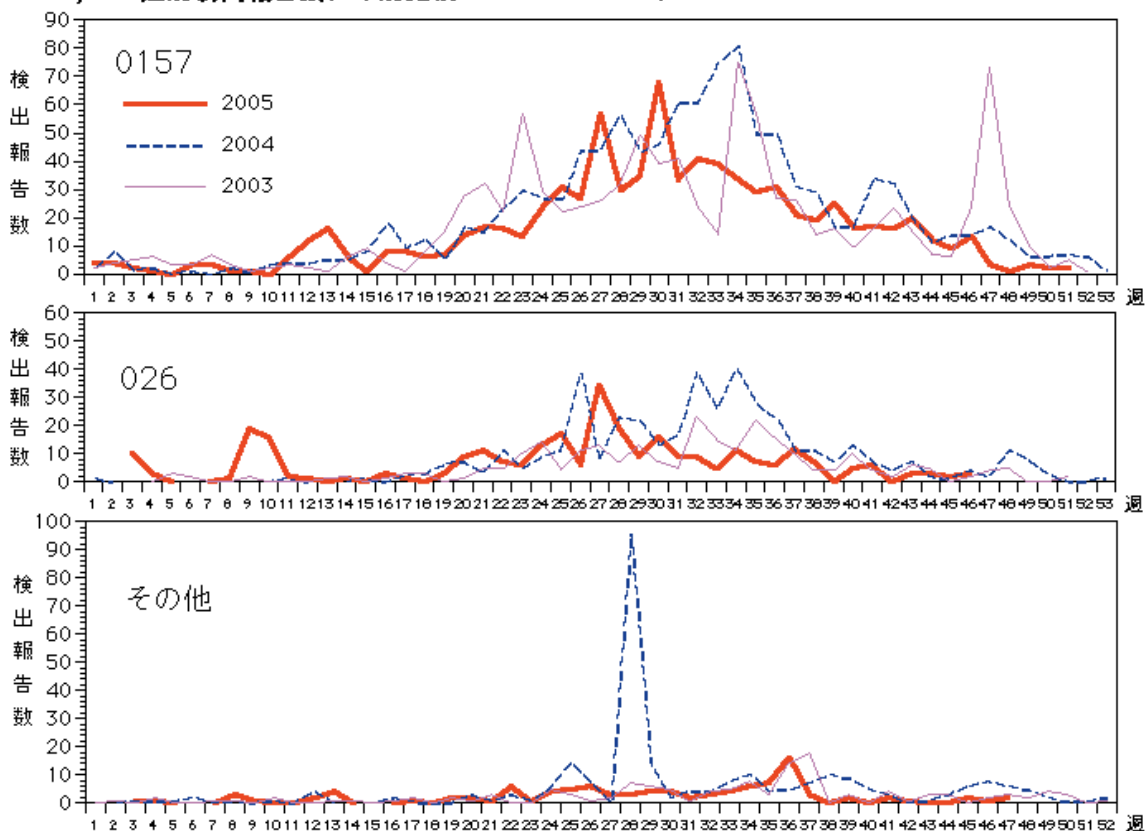


Infectious Agents Surveillance Report

ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2005年

検出総数は1,214件で、うちO157が813件、O26が295件、その他の血清型が106件報告されている。第9～10週にO26、第12～13週にO157の報告に小さなピークがみられた。O157、O26ともに例年同様夏季に増加したが、8月以降の報告は2003年、2004年より少ない数で推移している。

O157,O26週別検出報告数、年別比較 2003～2005年 (病原微生物検出情報: 2006年1月13日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を圖に示した。





アイチウイルスが検出された食中毒事例 - 大分県

2005(平成17)年10月17日に別府県民保健福祉センターに、食中毒様症状を起こしているグループがあるとの通報があった。調査の結果、別府市内の飲食店で10月12日に食事をした23～68歳の1グループ21名中16名に、症状がみられることが判明した。症状は嘔吐、下痢、発熱、腹痛であり、平均潜伏時間は43時間であった。提供された食事の内容は、おぼろ豆腐、カキ塩辛、栗銀杏、かもたたき、さんま寿司、刺身、リンゴ、釜グラタン、白金豚トマト煮、うなぎ白焼き赤ワインソース、天ぷら、イクラ飯などであった。

患者の便7件についてノロウイルスおよびサポウイルス、アストロウイルス、アイチウイルスのRT-PCR検査を実施した。検査は、ウイルス性下痢症診断マニュアル第3版(国立感染症研究所ウイルス第二部他、編集・発行)に沿って実施した。RT-PCRで陽性となった場合は、検出ウイルスの遺伝子配列を調べ、ノロウイルスについては系統樹解析、その他のウイルスについてはBLASTによる相同性検索により陽性を確認した。検査結果としては、ノロウイルスGI/3およびアイチウイルスがそれぞれ4件から検出され、ノロウイルスGII/6が3件、ノロウイルスGII/3、ノロウイルスGII/4、ノロウイルスGII/12がそれぞれ1件から検出された。2種類または3種類のウイルスが検出された検体は、7件中6件であった。なお、細菌検査も行ったが、既知の食中毒起因菌は検出されなかった。飲食店従業員の便8件のウイルス検査を行ったが、陰性であった。食品の残品は無かったが、カキの塩辛と同一の製品があったので、ノロウイルスおよびアイチウイルスの検査を実施したところ、アイチウイルスが検出された。

飲食店従業員から原因ウイルスが検出されなかったため、食品由来による食中毒と推定された。ノロウイルスで複数の遺伝子型のウイルスが検出される集団胃腸炎や、アイチウイルスが検出される胃腸炎は、生カキなどの2枚貝を食べた事例が多い。検査したカキの塩辛は、カキの中腸腺を含む剥き身全体を塩辛にしたものを冷凍保存したものであった。ノロウイルスは塩分や低いpH、低温には強いので、塩辛中で感染性を保つと考えられる。今回、塩辛からノロウイルスが検出されなかったのは、ウイルス量が検出限界以下であったか、製品個体の違いによると考えられた。

当センターでは2003年より、九州地域の衛生研究所の共同研究としてアイチウイルスの検査を実施しているが、検出されたのは、2004年3月に感染性胃腸炎の散発例からの1例のみである。検出例の少ないウイルスであるが、今回の事例を通じてあらためて検査の必要性が感じられた。

大分県衛生環境研究センター

小河正雄 田代潔子 吉用省三 内山静夫

別府県民保健福祉センター・衛生課

(IASR 2006年1月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)



海外感染症情報

* 関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ(<http://www.forth.go.jp/>)をご覧ください。

トルコでの鳥インフルエンザ流行

WHO/CSR 2006年1月7日

トルコ保健省は、新たに2名の鳥インフルエンザH5N1感染を確定した。5歳と8歳の小児で、入院治療中である。これにより、トルコでの確定患者は4人になった。このうち2名は死亡した。英国のWHO協力センターは本日、死亡した2名から得られた検体でH5N1ウイルスを確認した。

また、H5N1感染が疑われる12歳の少女が死亡した。この少女はすでに死亡した2名の妹である。6歳の弟も入院中である。これらの患者の検体は検査中であるが、現時点では検査での確定はなされていない。

トルコ当局によると、Van州の病院ではH5N1疑い患者約30人が治療を受けている。ほとんどの患者は小児で、大部分がDogubayazitの辺地の出身である。

現時点で全ての証拠から言えることは、感染は発病した家禽との密接な接触後に発生していることである。寒冷時期にニワトリを屋内に入れる習慣のため、ヒトと家禽との接触の機会が増加する。実験結果からは、このウイルスは4 日では鳥の糞の中で35日間活性を保つことが示されている。

WHO/CSR 2006年1月9日

1月9日現在、検査により、更に10名がH5亜型の鳥インフルエンザに感染していることが判明した。5名は8日に、残りの5名は9日に報告された。患者の多くは小児であり、治療と評価のために入院している。

8日に発表された5名のうち、3名はアンカラ(5歳と2歳の兄弟、65歳の男性)州出身であり、アンカラに入院している。他の2名はAgri州Dogubeyazit地区出身の9歳女兒と、その弟の3歳児であり、Van市に入院している。

9日に判明した5名はKastamonu、Corum、Samsun州出身である。これにより、トルコで確定されたのは計14名(うち死亡2名)となった。

WHO/CSR 2006年1月10日 - 更新3

トルコの検査機関で施行された検査で、同国で15例目となる鳥インフルエンザウイルス感染患者が確定された。患者は37歳女性で、発病したニワトリへの曝露歴がある。この女性患者は中央部のSivas州在住で、同州は患者発生を報告した7番目の州となる。これまでのところ、患者は発病した鳥類との密接な接触により感染したことが示されている。

WHO/CSR 2006年1月12日 - 更新4

トルコで実施された検査の結果、新たに患者2名の検体でH5型鳥インフルエンザウイルスの分離が確定された。2人の患者は、南部のシリアとの国境に近いSanliurfa州と、東部でVan州に隣接したSiirt州の住民であった。ヒト感染患者は、全81州中9州から報告されている。

患者2名は4歳と6歳の小児であり、両者とも発病した家禽との直接接触歴がみられた。Sanliurfa州では、裏庭で個人飼育される家禽での感染事例が2005年11月末に遡って発生していたと考えられている。国全体では、農業当局が11州で家禽での流行を確認し、別の14州で流行の可能性を調査している。本日完了した診断検査により、1月7日に死亡したAgri州出身の12歳女兒患者から採取された剖検検体で、H5型鳥インフルエンザウイルスが検出された。この患児は、それより前に(鳥インフルエンザ感染で)死亡した姉弟2人の妹である。前の2人の

H5N1型ウイルス感染は、英国にあるWHO協力検査機関により確定された。

保健省は現在までに、検査で診断が確定した患者18名を報告している。そのうち、同じ家族である3名が死亡した。

ロンドンMill HillのMRC国立医科学研究所にあるWHOインフルエンザリファレンス研究協力センターは本日、トルコ国内の鳥インフルエンザ流行で最初に発生した死亡者2名から分離されたウイルス株の遺伝子、および抗原性解析を完了した。WHOに報告された情報によれば、これらの分離株は、現在トルコで鳥類から分離されている鳥インフルエンザH5N1型ウイルスに非常に類似している。分離株はまた、2005年4月末以降、中国の青海湖自然保護地区で発生した渡り鳥での大規模な鳥インフルエンザ流行の際分離されたウイルス株とも、非常に類似している。

今回の解析の結果、トルコでの鳥インフルエンザウイルスは、オセルタミビルとアマンタジンを含む2系統の抗ウイルス薬に感性であることが示された。WHOおよび協力している専門家は、アマンタジン感受性のデータを再評価する予定である。オセルタミビルは現在も、WHOによって勧奨される第一選択薬である。患者の1人から分離されたウイルスは、受容体結合部位に変異が認められた。変異のうちの1つは、2003年に香港で発生した小規模流行(患者2名、うち1名が死亡)と、2005年のベトナムでの流行の際分離されたウイルス株にも確認されていた。研究の結果、香港の2003年ウイルス株は、鳥類細胞の受容体よりもヒト細胞の受容体に高い親和性で結合することが示された。Mill Hill研究室の研究者らは、トルコのウイルス株もこの特性を獲得するだろうと予想している。ヒトの健康に対する今回の解析結果の意義を解釈するには、トルコで現在収集されている臨床および疫学データが必要であろう。

現在得られている証拠からは、ヒト感染患者が発生しているすべての国で、継続的なヒト・ヒト感染伝播は発生していないことが示唆される。

現在のWHOのインフルエンザパンデミック警報レベルはフェーズ3のままである。すなわち、新たなウイルス亜型によるヒト感染が発生しているが、そのような感染のほぼ全例が、感染動物から直接伝播されている。

中国での鳥インフルエンザ流行

WHO/CSR 2006年1月10日

中国保健省は、同国内での8例目のH5N1型鳥インフルエンザウイルス感染患者を確認した。患者は、南部の湖南省出身の6歳男児である。患児は12月24日に発熱と肺炎を発症し、現在入院中であるが容態は安定している。中国当局は、すでに報告された患者2名がその後死亡したことも発表した。死亡したのは、12月7日に報告された広西自治区出身の10歳の女児と、12月16日に報告された江西省出身の35歳の男性患者であった。現在までに、中国での確定患者8名のうち5名が死亡している。

今回の新たに診断確定された患者についての予備的な調査により、現地では公式には家禽での鳥インフルエンザ感染は報告されていないが、家族が飼育していて最近死亡した家禽が感染源であった可能性が高いと特定された。患者との密接な接触者は医療観察下に置かれているが、現在までに感染の兆候を示した人はいない。

今回の患者は、湖南省で2例目の確定患者である。以前の患者は、2005年10月中旬に中国から初めて報告された鳥インフルエンザ患者2人のうちの1人であったが、今回の患者発生地

から約300km離れた場所に居住していた。

H5N1型鳥インフルエンザウイルス感染患者を報告している省・地域は、湖南省に加えて安徽省、広西自治区、遼寧省、江西省および福建省である。

インドネシアの鳥インフルエンザ流行状況

WHO/CSR 2006年1月14日

インドネシア保健省は、新たなH5N1型鳥インフルエンザウイルス感染患者1名を確定した。患者は29歳女性で、ジャカルタにある病院の産科病棟で助産婦として勤務していた。2005年12月31日に発症し、2006年1月2日に入院したが、その後2006年1月11日に死亡した。

保健省とWHOによって行われた調査で、患者が発症する2週間前に、患者自宅付近で家禽の大量死が発生したことが確認された。その他に、患者が発症する数日前に、屠殺されたばかりの新鮮なニワトリを購入するため、生きた家禽市場を訪れていたことも判明した。これらの場所で調査が継続されている。

今回の患者が職業上感染した可能性は少ないと考えられている。本日の調査では、患者の発症前に発病していた同僚はなかったことも判明した。病院の記録によると、患者が勤務していた病棟では、入院中にインフルエンザ様疾患の症状を呈した患者はみられなかった。

患者が発症した時は、病院で2交代制で勤務していたので、接触者調査は広範囲に渡っている。現時点では、発病した助産婦が看護していた患者や、病院の同僚に感染を伝播したとする証拠は出ていない。同様に、家族や近隣住民に発病の兆候はない。接触者の健康監視は、最長の潜伏期間が終了するまで継続される。今回診断が確定された患者は、インドネシアで17例目の鳥インフルエンザ感染患者であり、12例目の死亡者である。

ポリオの流行状況

[1] ソマリア

Polio eradicationウェブサイト 2006年1月6日

進行中のポリオ流行(患者総数131名)は、首都モガディシュの域外にも拡大した。ソマリアは、地理的にポリオ流行が拡大している世界で唯一の国である。同国北部を含め、モガディシュの域外で最近患者が確認されたことから、野生ポリオウイルス株のソマリア国内での感染拡大と、隣国への拡大の可能性のリスクが続いている。2006年1月と2月にポリオワクチン接種キャンペーンが計画されている。各回とも、5歳未満の小児160万人への接種を目的としている。

[2] イエメン

WHO東地中海地域事務局ウェブサイト(EMRO) 2006年1月11日

今回の流行で、患者合計478名が報告された。流行は現在、制圧されたと考えられている。最後の患者の発病日は2005年11月17日であった。

[3] インドネシア - 更新

Polio eradicationウェブサイト 2006年1月9日

East Java州Madura島から、新たなワクチン由来ポリオウイルス(VDPV)患者11名が報告され

た。今回の患者発生により、ポリオ患者総数は342名となった(調査中のEast Java州Madura島での1型VDPV患者45名を含む)。合計で、10州および43地区での患者発生が確認されている。

2回の緊急ワクチン接種キャンペーン(2005年5月31日と6月28日にWest Java, BantenおよびJakarta州で実施された、経口ワクチンによるポリオ掃討対策)に加えて、2005年8月30日、9月27日および11月30日に、3回の全国ワクチン接種日(NIDs)が実施された。全国で、5歳未満の小児2,400万人以上が対象となった。インドネシアでは今回の流行(1型野生ポリオウイルスの持ち込みが原因)以前には、1995年以降ポリオ患者の発生はなかった。



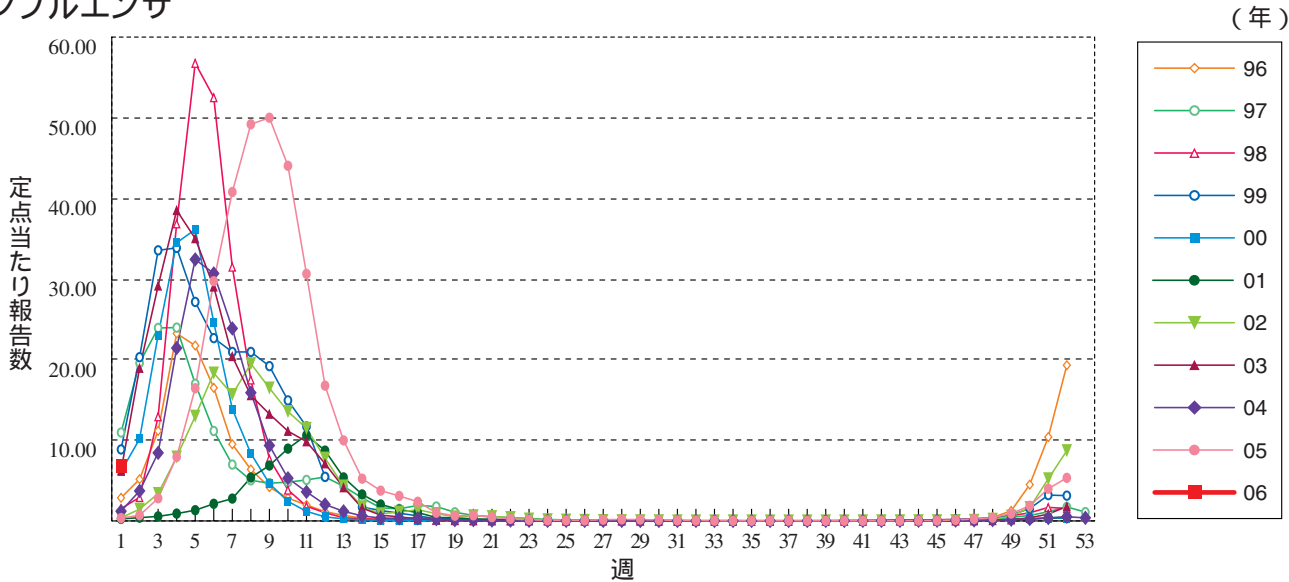
感染症の話

今週はお休みさせていただきます。
「感染症の話」過去の掲載分については
<http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/index.html>
でご覧いただけます。

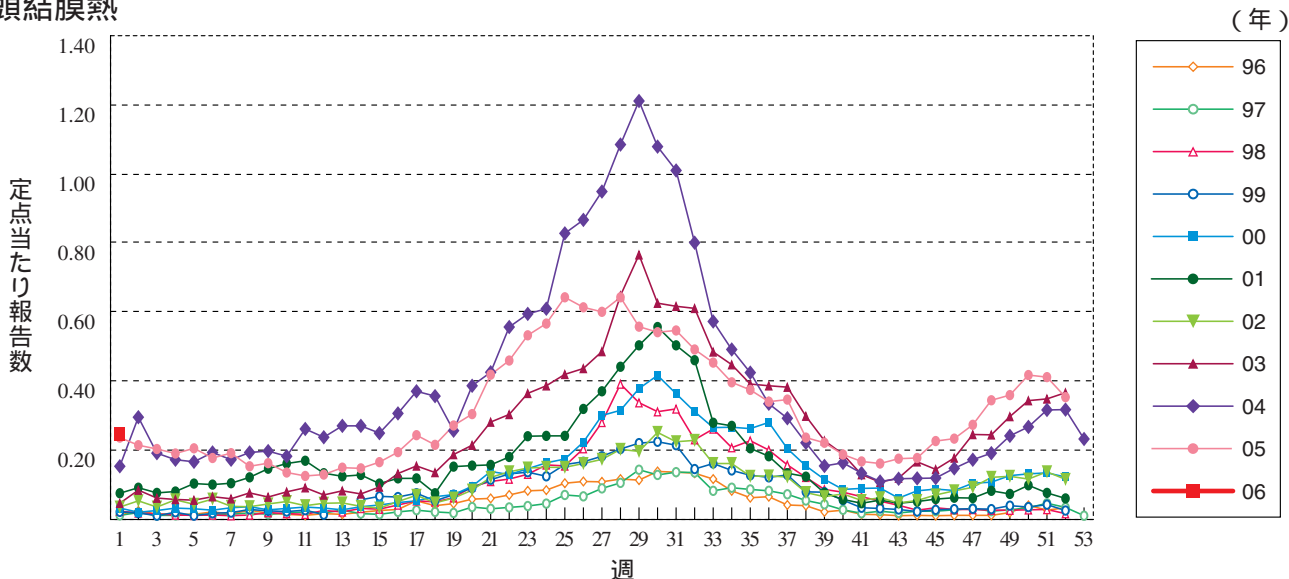


グラフ総覧(1週)

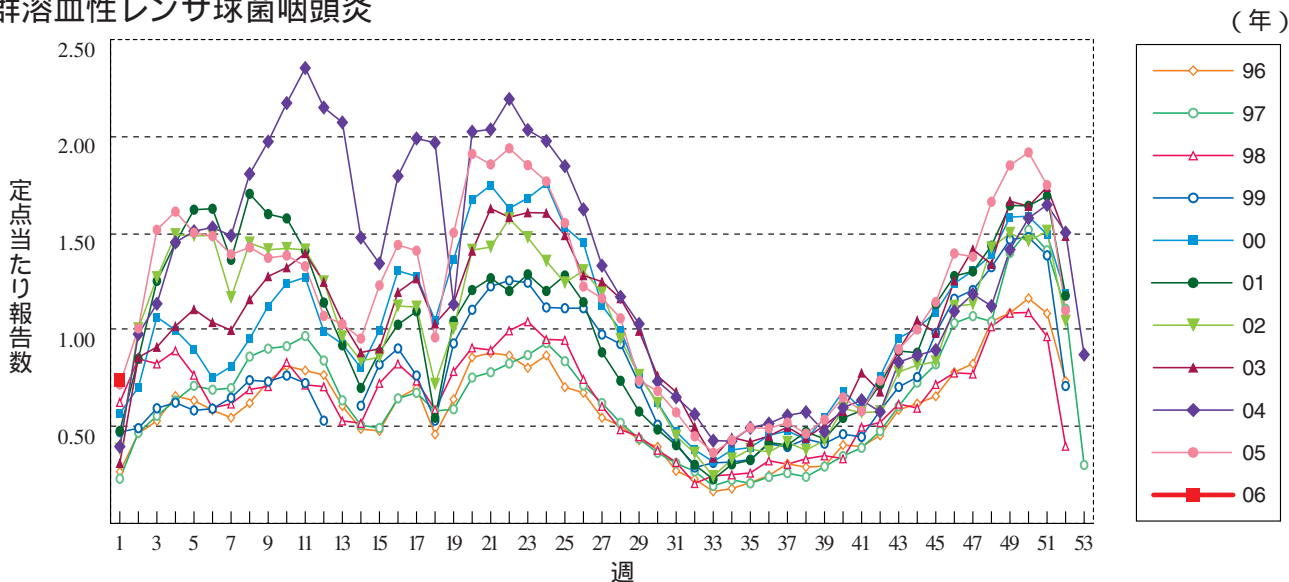
インフルエンザ



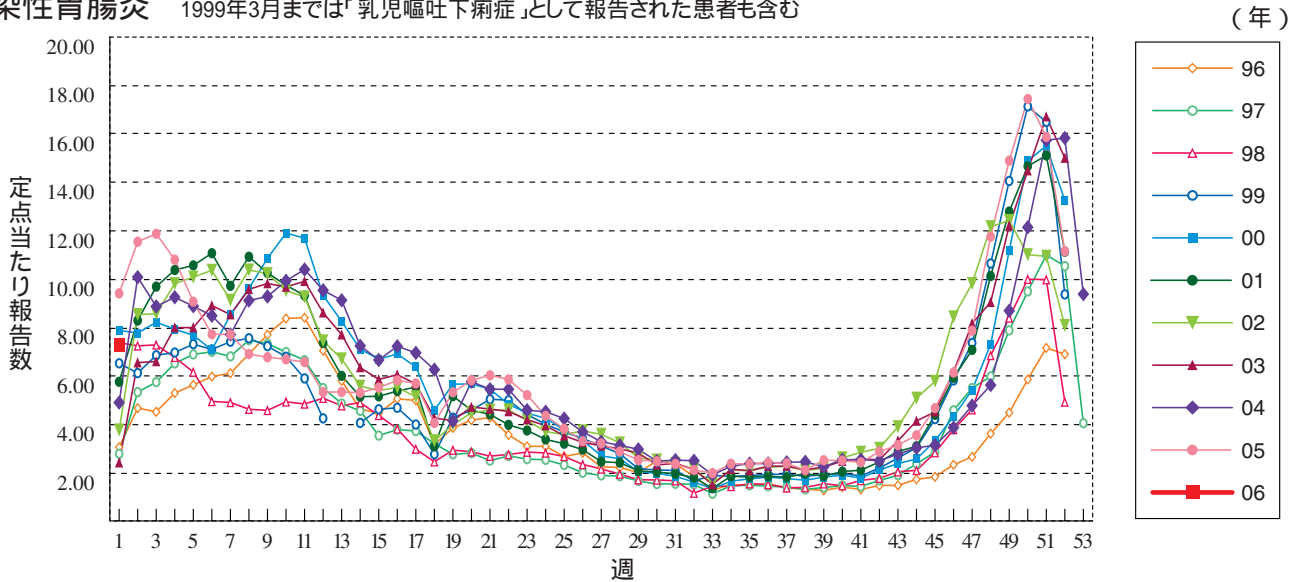
咽頭結膜熱



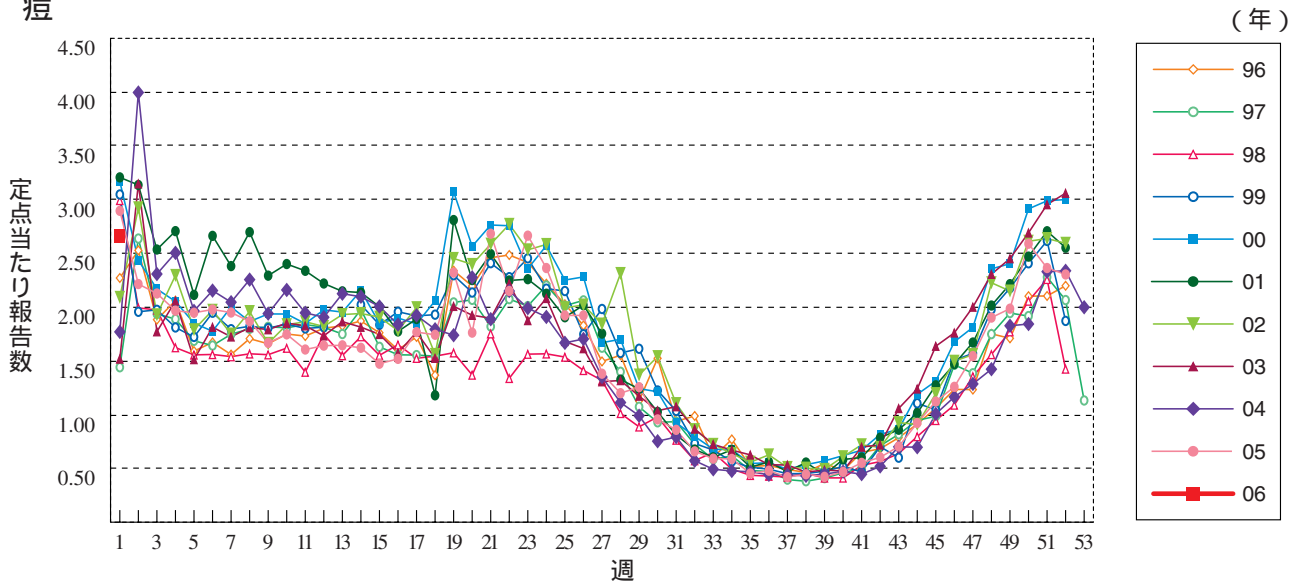
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



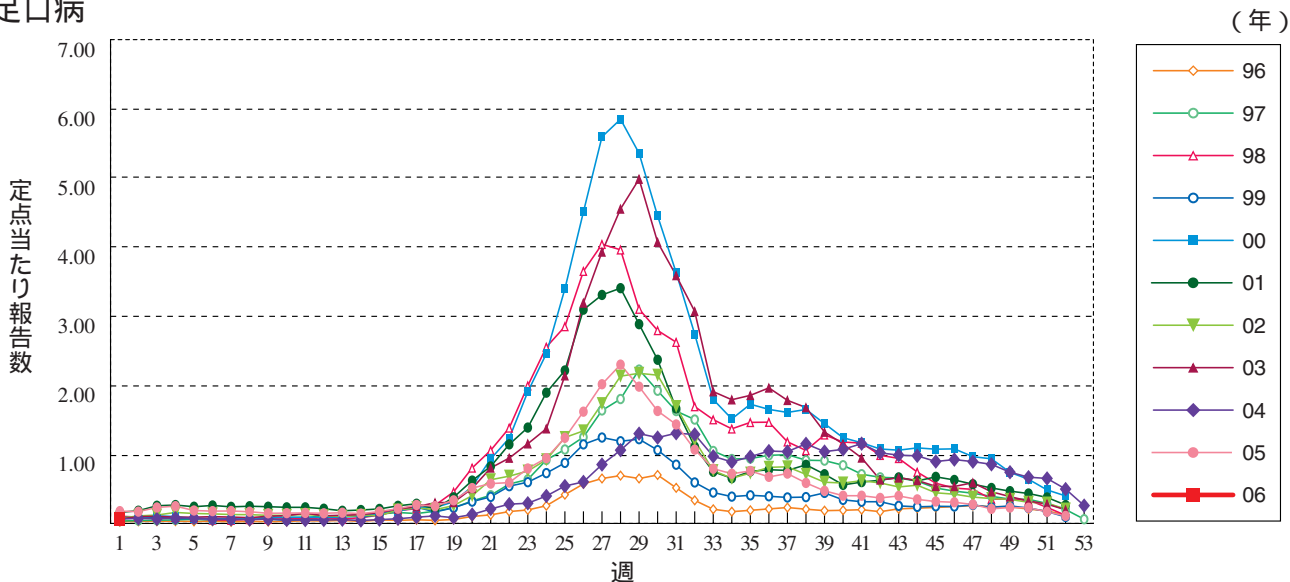
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



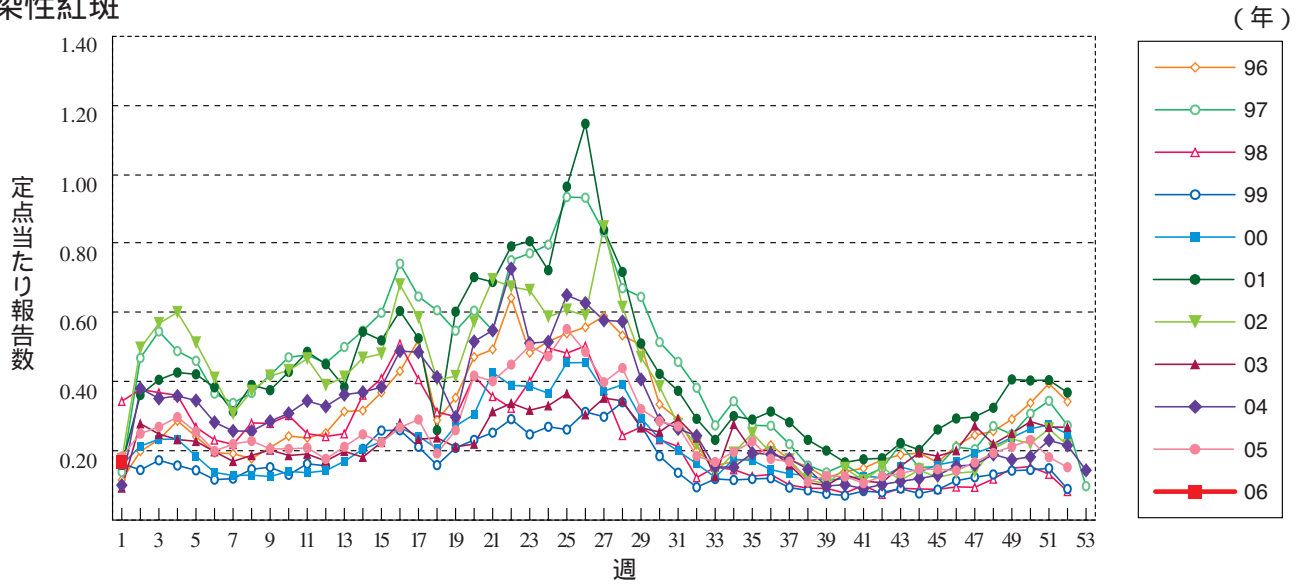
水痘



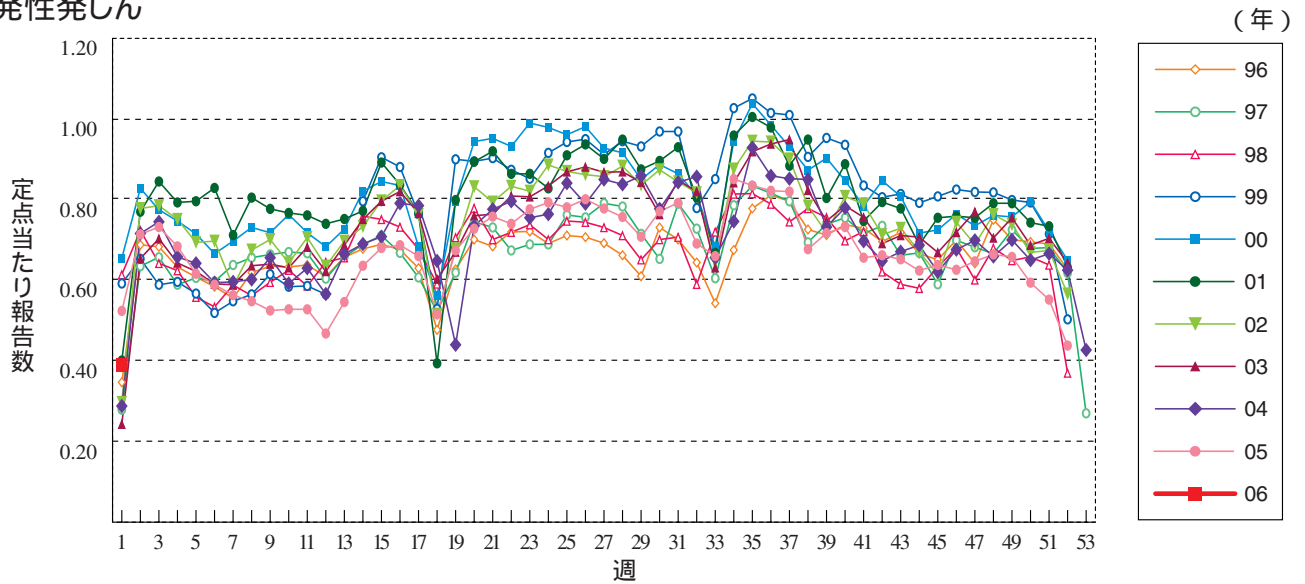
手足口病



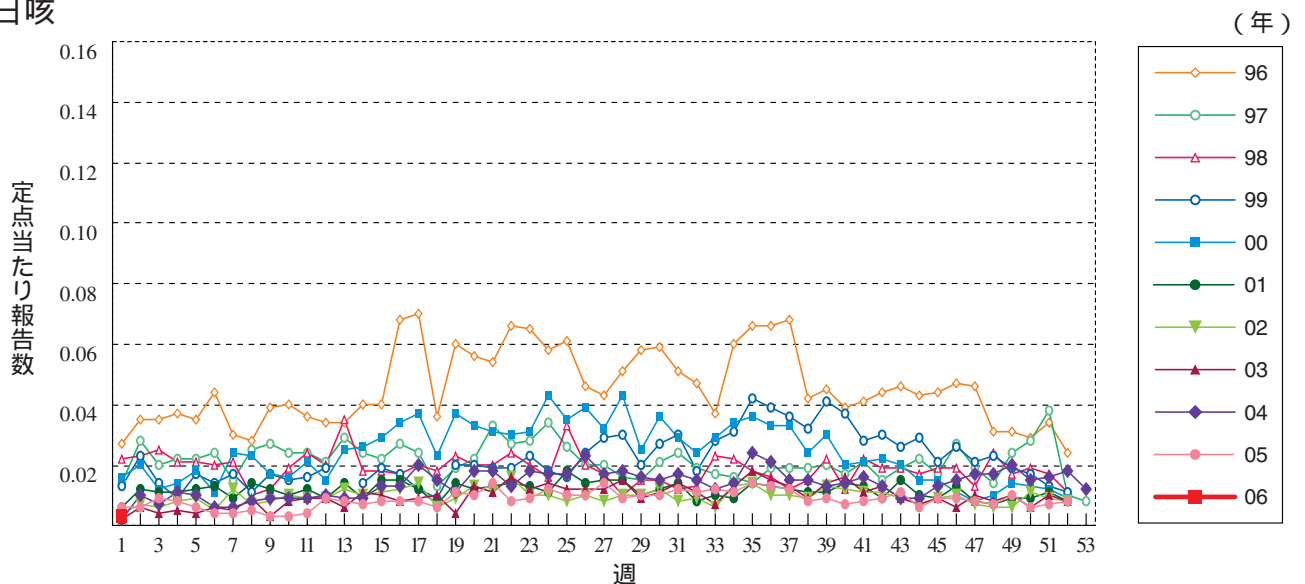
伝染性紅斑



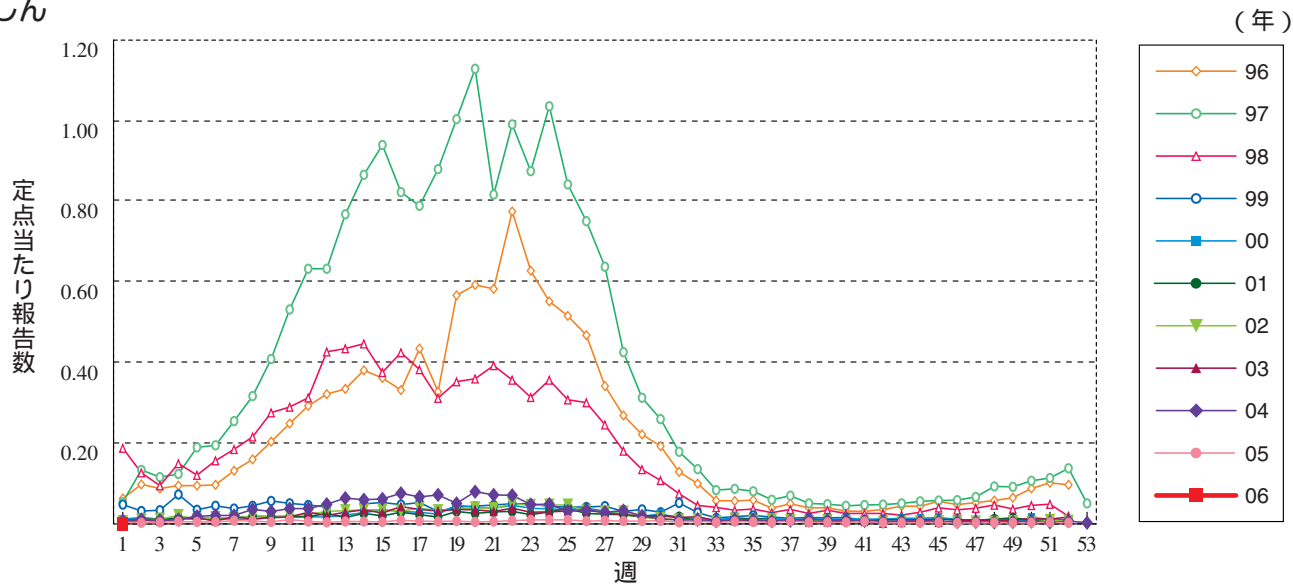
突発性発しん



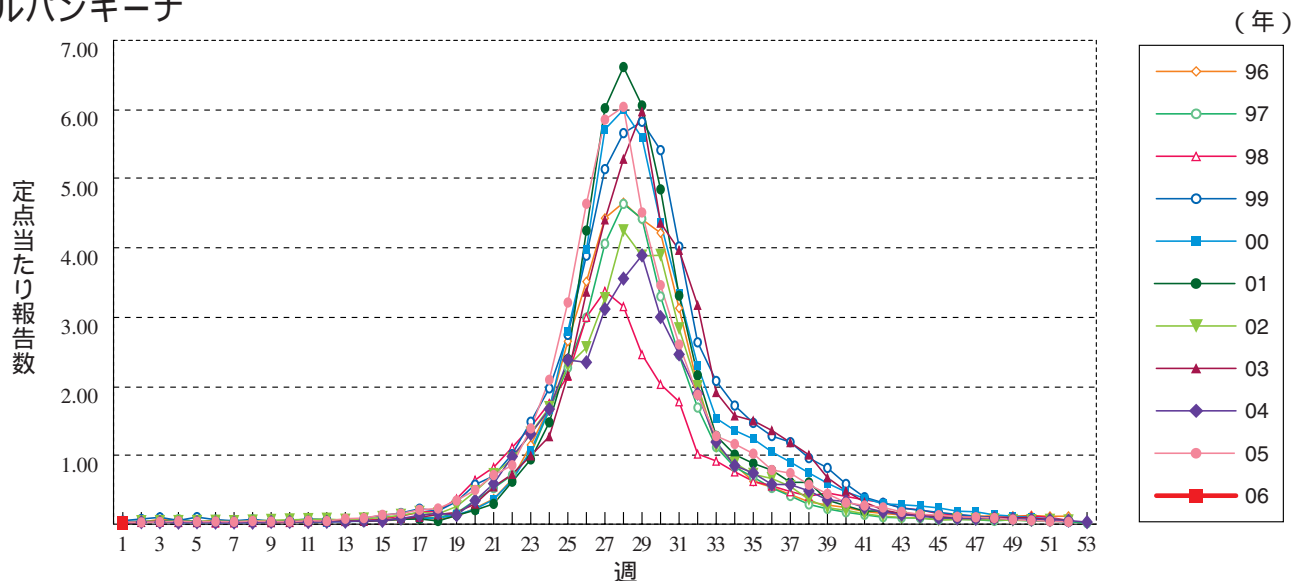
百日咳



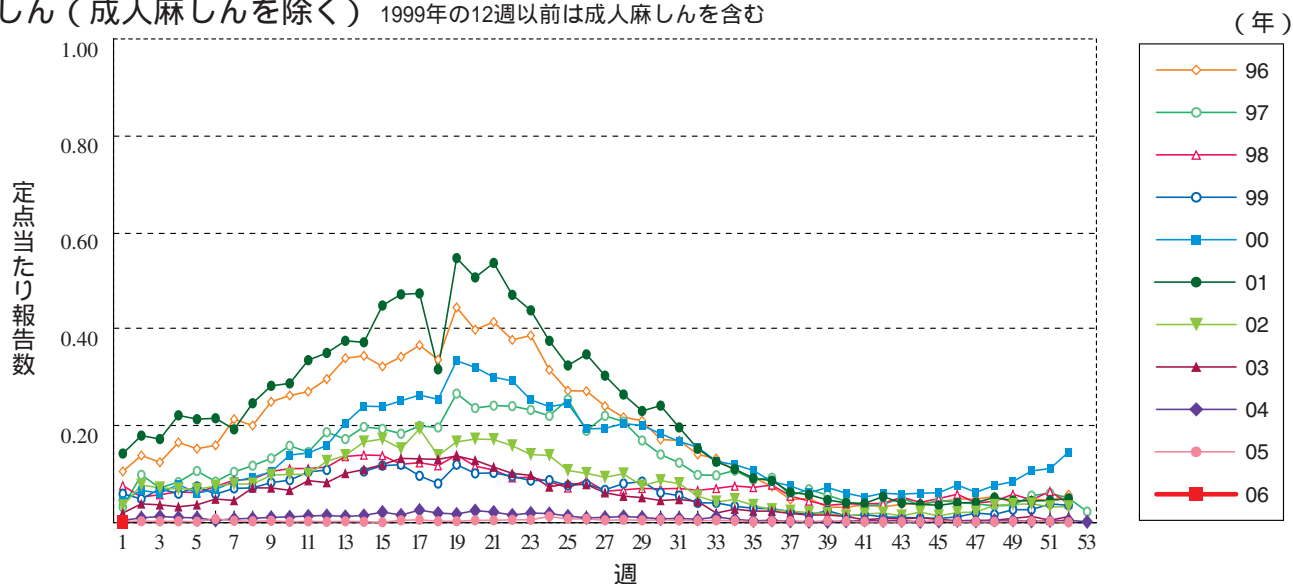
風しん



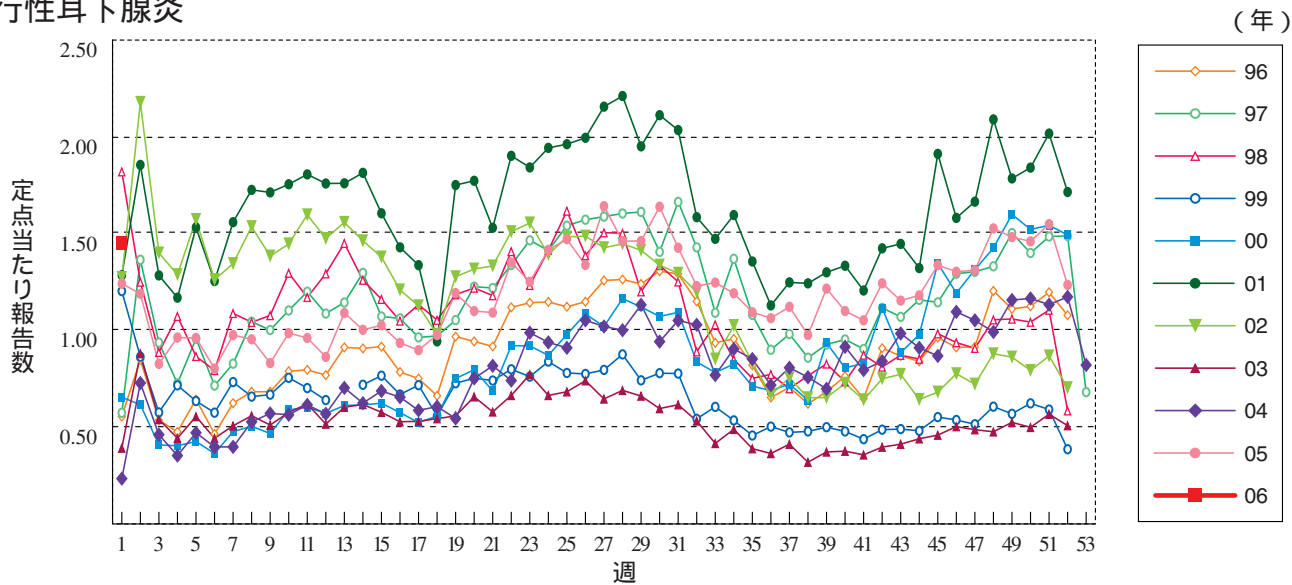
ヘルパンギーナ



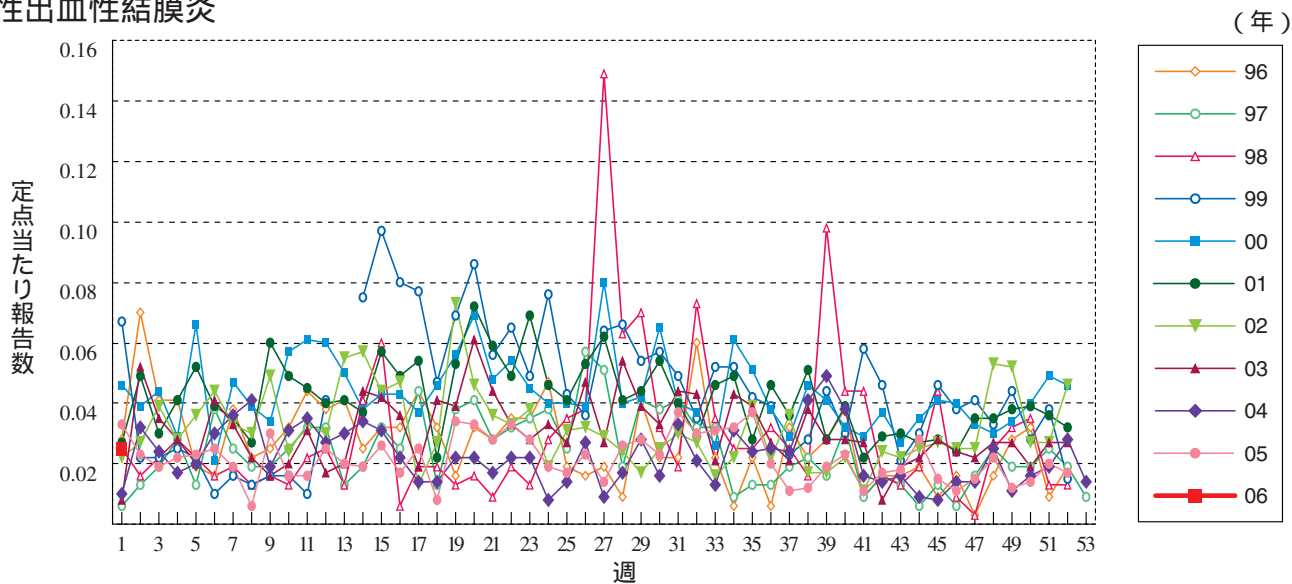
麻しん (成人麻しんを除く) 1999年の12週以前は成人麻しんを含む



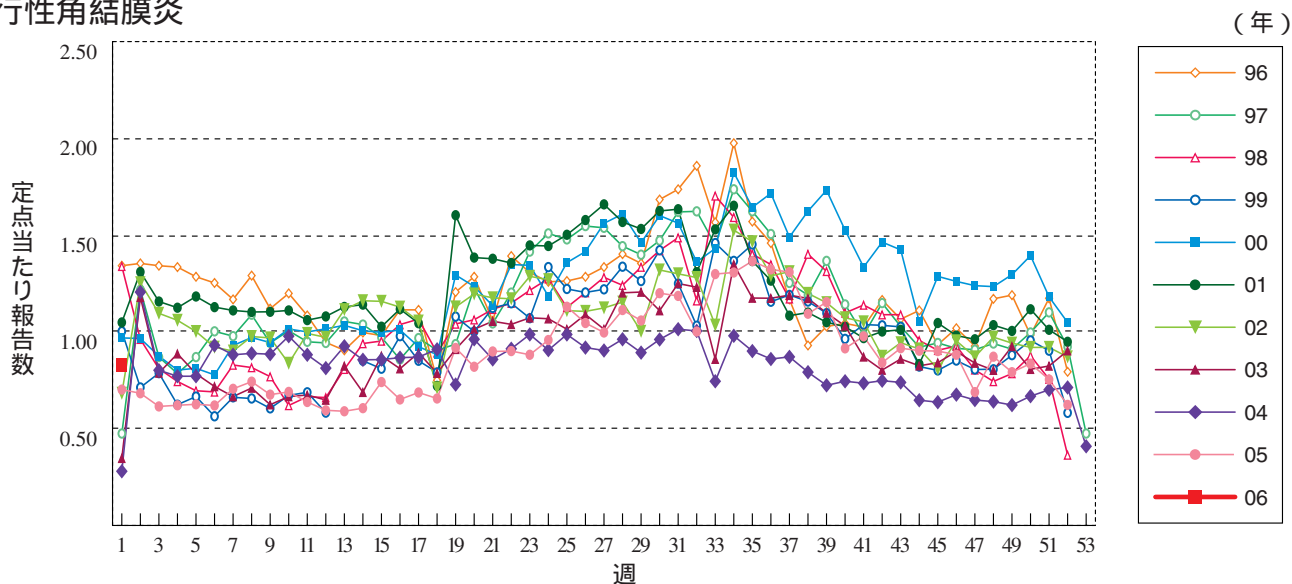
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

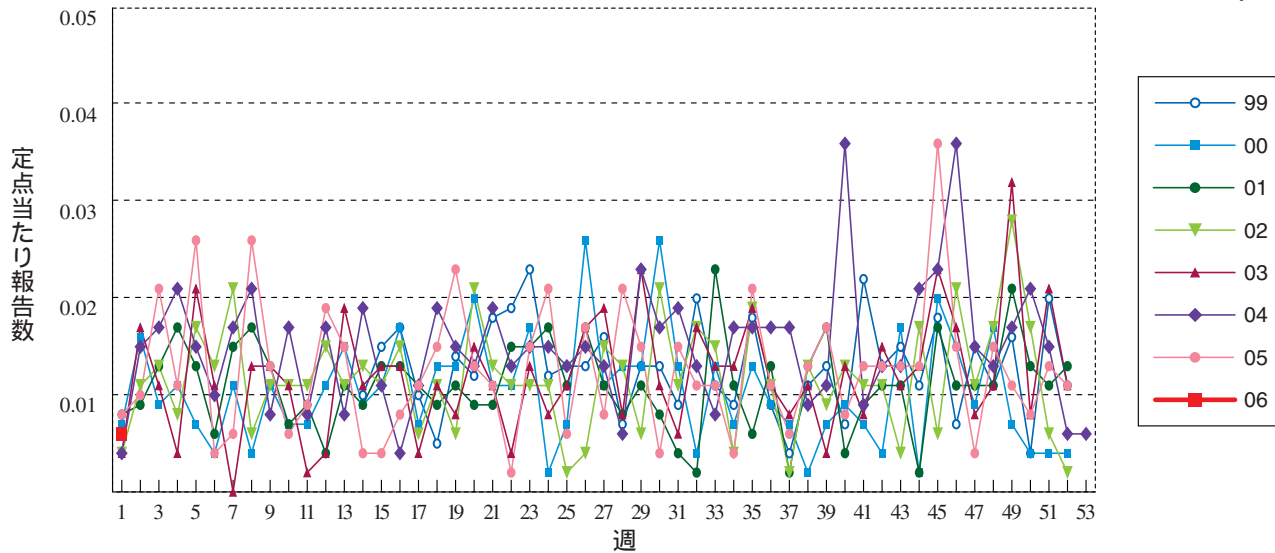


流行性角結膜炎



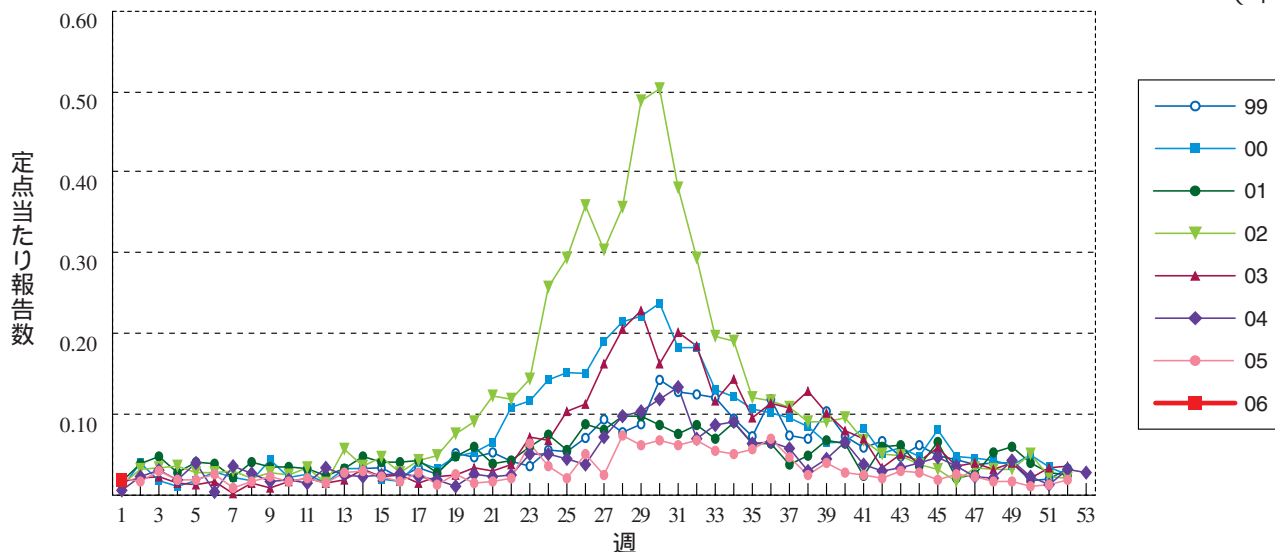
細菌性髄膜炎

(年)



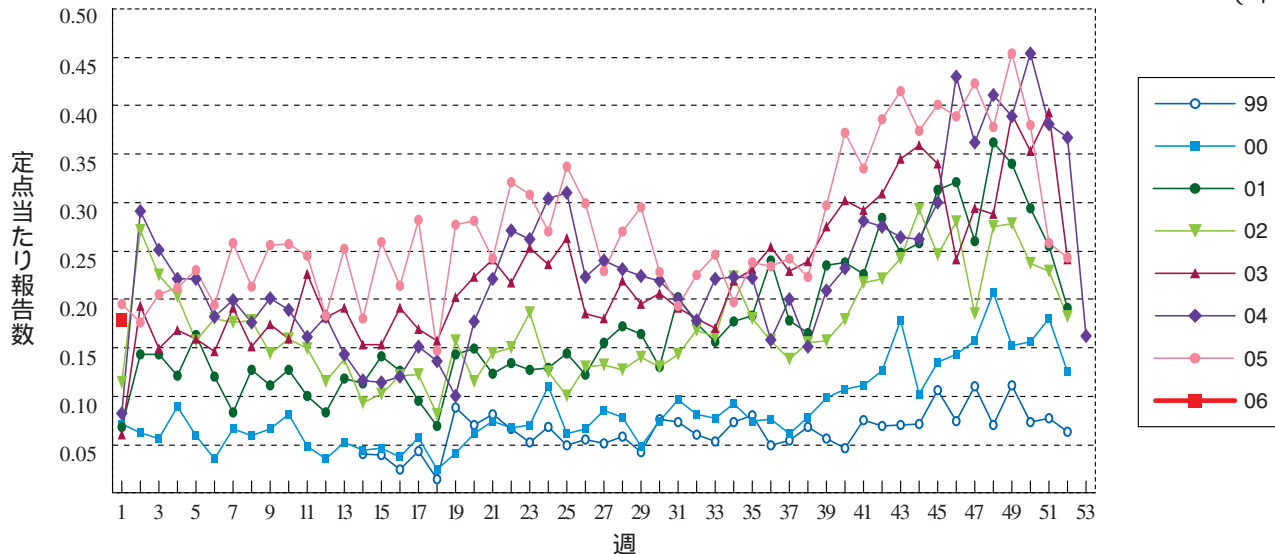
無菌性髄膜炎

(年)



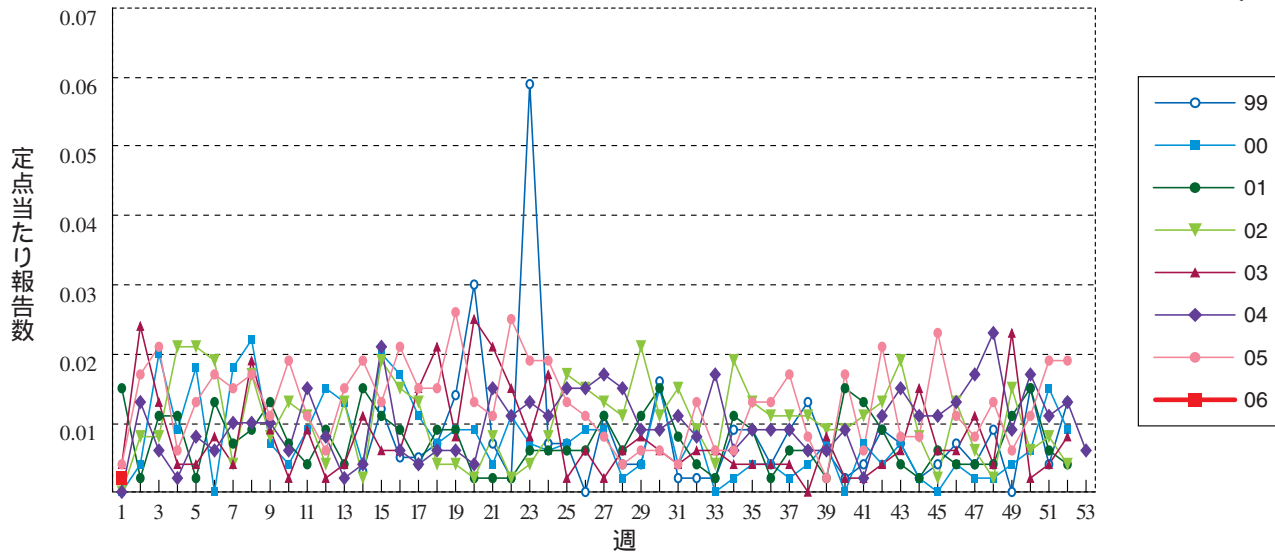
マイコプラズマ肺炎

(年)



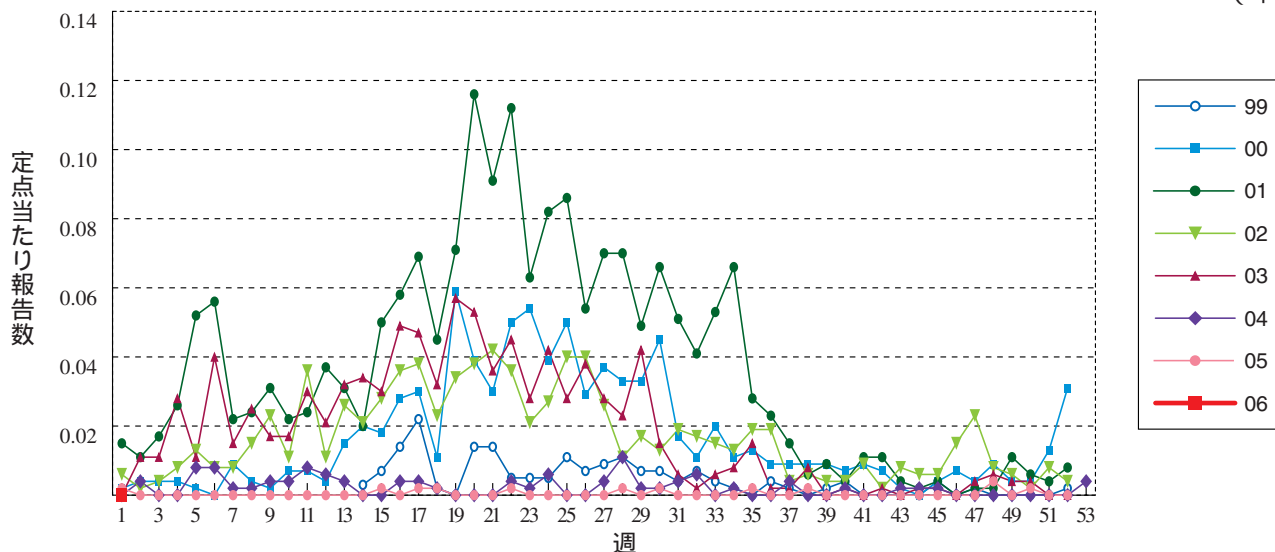
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



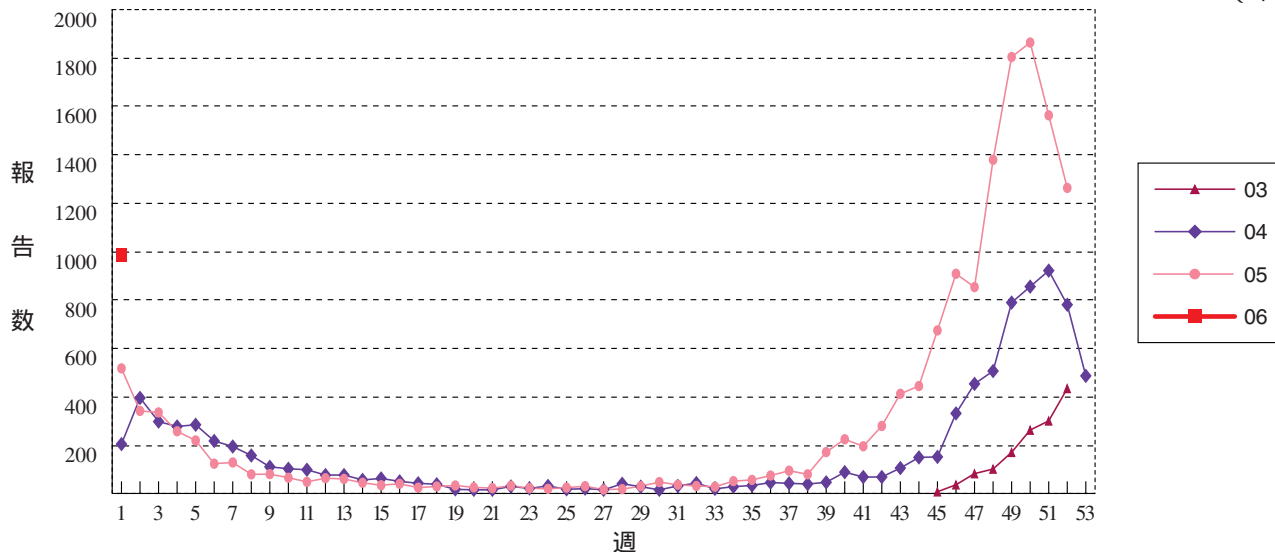
成人麻しん

(年)



RSウイルス感染症 定ポイントあたり報告数ではなく、報告数を示しています。

(年)





1週 of データ

注)表中の報告数は1月13日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。
表の最後の注釈を参照して下さい。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

平成18年1週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		パラチフス	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	6	6	1	1	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	1	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	2	2	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成18年1週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	6	6	1	1	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成18年1週

	Q熱		狂犬病		クリプトスポリジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		コクシジオイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	-	1	1	2	2	4	4	-	-	5	5	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	5	5	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成18年1週

	髄膜炎菌性髄膜炎		先天性風しん症候群		炭疽		つつが虫病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		梅毒		破傷風	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成18年1週

	バンコマイシン 耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス 肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発しんチフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	2	2
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成18年1週

	重症急性 呼吸器症候群		痘 そ う		E型肝炎		ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)		A型肝炎		高病原性鳥 インフルエンザ		サ ル 痘		ニバウイルス 感染症		ポツリヌス症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別 平成18年1週

	野 兎 病		リッサウイルス感染症		レプトスピラ症		急性脳炎		バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

全数把握疾患表注釈

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(施行日:平成15年11月5日、IDWR週報2003年43号参照)により、全数把握疾患の対象疾患、分類、疾患名の記載方法が一部変更されました。

表でみる「重症急性呼吸器症候群」以降の14の疾患は新システムでの追加疾患、および変更疾患(「乳児ボツリヌス症」「ボツリヌス症」「定点疾患「急性脳炎」全数疾患「急性脳炎」)です。「ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)」は平成14年11月に追加された疾患です。

旧システムにおける「ウイルス性肝炎」に含まれていた「E型肝炎」「A型肝炎」が独立した疾患となり、新システムにおける「ウイルス性肝炎」はE型肝炎、A型肝炎を除く肝炎となります。

注)表の最後の注釈を参照して下さい。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成18年1週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	31643	6.82	746	0.25	2239	0.74	21913	7.28	8017	2.66	207	0.07	503	0.17	1174	0.39	10	0.00
北海道	595	2.60	68	0.47	138	0.95	343	2.35	497	3.40	7	0.05	6	0.04	49	0.34	2	0.01
青森県	276	4.31	11	0.26	23	0.55	138	3.29	119	2.83	1	0.02	30	0.71	15	0.36	-	-
岩手県	450	7.14	1	0.03	14	0.37	142	3.74	130	3.42	5	0.13	1	0.03	14	0.37	-	-
宮城県	811	8.91	1	0.02	36	0.64	465	8.30	186	3.32	2	0.04	10	0.18	36	0.64	-	-
秋田県	221	4.02	8	0.23	14	0.40	164	4.69	71	2.03	1	0.03	3	0.09	13	0.37	2	0.06
山形県	120	2.50	15	0.50	29	0.97	103	3.43	72	2.40	1	0.03	7	0.23	9	0.30	-	-
福島県	708	9.08	12	0.25	33	0.69	459	9.56	155	3.23	4	0.08	34	0.71	26	0.54	-	-
茨城県	376	3.19	11	0.15	88	1.19	426	5.76	138	1.86	2	0.03	20	0.27	11	0.15	-	-
栃木県	219	3.13	3	0.07	21	0.46	451	9.80	102	2.22	4	0.09	6	0.13	10	0.22	1	0.02
群馬県	509	5.14	9	0.15	61	1.00	532	8.72	168	2.75	6	0.10	4	0.07	14	0.23	-	-
埼玉県	1317	5.35	25	0.16	144	0.95	1526	10.04	384	2.53	16	0.11	29	0.19	63	0.41	-	-
千葉県	628	3.05	8	0.06	87	0.67	974	7.55	301	2.33	6	0.05	32	0.25	48	0.37	-	-
東京都	512	2.88	14	0.10	90	0.63	877	6.18	208	1.46	6	0.04	37	0.26	29	0.20	-	-
神奈川県	976	2.91	20	0.10	126	0.61	1280	6.21	355	1.72	4	0.02	53	0.26	52	0.25	-	-
新潟県	156	1.59	32	0.52	91	1.47	453	7.31	256	4.13	5	0.08	10	0.16	33	0.53	-	-
富山県	49	1.02	4	0.14	22	0.76	316	10.90	64	2.21	1	0.03	3	0.10	13	0.45	-	-
石川県	86	1.79	10	0.34	35	1.21	391	13.48	127	4.38	1	0.03	-	-	11	0.38	-	-
福井県	113	3.53	32	1.45	27	1.23	368	16.73	91	4.14	-	-	-	-	12	0.55	-	-
山梨県	267	6.51	1	0.04	22	0.88	131	5.24	34	1.36	-	-	7	0.28	5	0.20	-	-
長野県	423	4.81	38	0.69	36	0.65	459	8.35	142	2.58	2	0.04	10	0.18	29	0.53	-	-
岐阜県	298	3.43	59	1.11	26	0.49	278	5.25	106	2.00	11	0.21	3	0.06	22	0.42	-	-
静岡県	713	6.04	9	0.12	69	0.93	751	10.15	236	3.19	1	0.01	6	0.08	32	0.43	-	-
愛知県	641	3.29	40	0.22	135	0.74	1193	6.55	338	1.86	43	0.24	18	0.10	65	0.36	-	-
三重県	266	3.64	9	0.20	34	0.76	496	11.02	129	2.87	10	0.22	5	0.11	26	0.58	-	-
滋賀県	541	10.61	1	0.03	15	0.47	90	2.81	63	1.97	5	0.16	1	0.03	13	0.41	-	-
京都府	942	7.79	2	0.03	25	0.33	275	3.67	100	1.33	7	0.09	2	0.03	10	0.13	-	-
大阪府	1911	6.64	62	0.31	106	0.54	1033	5.22	507	2.56	18	0.09	9	0.05	73	0.37	2	0.01
兵庫県	1325	7.16	28	0.23	64	0.52	683	5.60	358	2.93	6	0.05	16	0.13	38	0.31	-	-
奈良県	269	4.89	7	0.20	18	0.51	183	5.23	52	1.49	-	-	1	0.03	12	0.34	-	-
和歌山県	342	6.84	9	0.29	18	0.58	261	8.42	61	1.97	-	-	6	0.19	10	0.32	-	-
鳥取県	286	9.86	-	-	30	1.58	156	8.21	83	4.37	-	-	14	0.74	8	0.42	-	-
島根県	153	4.37	19	0.83	22	0.96	221	9.61	93	4.04	4	0.17	30	1.30	8	0.35	-	-
岡山県	2070	24.94	7	0.13	26	0.48	321	5.94	135	2.50	5	0.09	3	0.06	21	0.39	-	-
広島県	1103	9.59	20	0.28	51	0.71	798	11.08	199	2.76	-	-	11	0.15	38	0.53	1	0.01
山口県	820	11.88	12	0.24	63	1.29	534	10.90	172	3.51	-	-	7	0.14	22	0.45	-	-
徳島県	146	3.84	1	0.04	14	0.61	313	13.61	56	2.43	-	-	1	0.04	11	0.48	-	-
香川県	1001	19.63	15	0.47	13	0.41	254	7.94	94	2.94	1	0.03	1	0.03	20	0.63	-	-
愛媛県	289	4.74	7	0.19	42	1.14	586	15.84	141	3.81	3	0.08	3	0.08	23	0.62	-	-
高知県	119	2.43	5	0.16	7	0.23	361	11.65	67	2.16	2	0.06	1	0.03	11	0.35	-	-
福岡県	4177	21.10	27	0.23	149	1.24	953	7.94	540	4.50	4	0.03	29	0.24	65	0.54	-	-
佐賀県	487	12.49	16	0.70	16	0.70	138	6.00	73	3.17	4	0.17	3	0.13	15	0.65	-	-
長崎県	383	5.63	14	0.32	11	0.25	249	5.66	109	2.48	2	0.05	5	0.11	13	0.30	-	-
熊本県	837	10.46	14	0.29	34	0.71	337	7.02	204	4.25	2	0.04	10	0.21	30	0.63	-	-
大分県	324	5.59	6	0.17	39	1.08	601	16.69	114	3.17	1	0.03	6	0.17	28	0.78	1	0.03
宮崎県	1613	26.88	7	0.19	39	1.05	397	10.73	110	2.97	1	0.03	3	0.08	37	1.00	-	-
鹿児島県	1366	14.69	27	0.48	31	0.55	391	6.98	159	2.84	3	0.05	7	0.13	22	0.39	1	0.02
沖縄県	409	7.05	-	-	5	0.15	62	1.82	118	3.47	-	-	-	-	9	0.26	-	-

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成18年1週

	風しん		ヘルパンギーナ		麻しん (成人麻しんを除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ 肺炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	3	0.00	56	0.02	6	0.00	4366	1.45	16	0.03	529	0.83	3	0.01	9	0.02	83	0.18
北海道	-	-	-	-	-	-	183	1.25	-	-	24	0.80	-	-	-	-	2	0.10
青森県	-	-	-	-	-	-	52	1.24	-	-	7	0.64	-	-	-	-	6	1.00
岩手県	-	-	7	0.18	-	-	21	0.55	-	-	21	1.75	-	-	-	-	1	0.05
宮城県	1	0.02	-	-	-	-	120	2.14	-	-	1	0.09	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	13	0.37	-	-	6	0.86	-	-	-	-	13	1.63
山形県	-	-	-	-	-	-	57	1.90	-	-	2	0.25	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	2	0.04	-	-	114	2.38	-	-	15	1.25	-	-	-	-	7	1.00
茨城県	-	-	-	-	3	0.04	111	1.50	-	-	26	1.63	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	35	0.76	2	0.17	16	1.33	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	2	0.03	1	0.02	80	1.31	1	0.07	28	2.00	-	-	-	-	2	0.22
埼玉県	-	-	6	0.04	-	-	227	1.49	2	0.05	21	0.54	1	0.11	1	0.11	4	0.44
千葉県	-	-	1	0.01	-	-	119	0.92	-	-	19	0.59	-	-	-	-	2	0.22
東京都	-	-	2	0.01	-	-	112	0.79	-	-	6	0.43	-	-	-	-	2	0.08
神奈川県	2	0.01	-	-	1	0.00	187	0.91	1	0.02	31	0.74	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	2	0.03	-	-	66	1.06	-	-	4	0.40	-	-	-	-	2	0.17
富山県	-	-	-	-	-	-	78	2.69	-	-	2	0.29	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	91	3.14	-	-	4	0.57	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	21	0.95	-	-	5	1.67	-	-	-	-	1	0.17
山梨県	-	-	-	-	-	-	34	1.36	1	0.33	1	0.33	-	-	-	-	2	0.20
長野県	-	-	-	-	-	-	197	3.58	-	-	9	0.75	-	-	1	0.09	4	0.36
岐阜県	-	-	2	0.04	-	-	50	0.94	-	-	10	0.91	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	1	0.01	-	-	153	2.07	1	0.06	8	0.47	-	-	-	-	1	0.11
愛知県	-	-	3	0.02	-	-	198	1.09	-	-	22	0.63	-	-	-	-	3	0.23
三重県	-	-	1	0.02	-	-	75	1.67	-	-	2	0.17	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	29	0.91	-	-	3	0.43	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	1	0.01	1	0.01	65	0.87	-	-	12	0.67	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	2	0.01	-	-	153	0.77	1	0.02	23	0.44	-	-	-	-	14	1.00
兵庫県	-	-	1	0.01	-	-	116	0.95	-	-	23	0.68	-	-	-	-	2	0.17
奈良県	-	-	-	-	-	-	38	1.09	-	-	1	0.11	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	82	2.65	-	-	3	0.75	-	-	1	0.09	1	0.09
鳥取県	-	-	-	-	-	-	96	5.05	1	0.33	3	1.00	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	1	0.04	-	-	67	2.91	-	-	2	0.67	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	72	1.33	-	-	6	0.50	-	-	-	-	2	0.40
広島県	-	-	-	-	-	-	185	2.57	1	0.05	21	1.11	-	-	4	0.19	3	0.14
山口県	-	-	3	0.06	-	-	115	2.35	-	-	12	1.33	-	-	-	-	2	0.22
徳島県	-	-	1	0.04	-	-	37	1.61	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	68	2.13	-	-	7	2.33	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	72	1.95	-	-	22	2.75	1	0.17	-	-	1	0.17
高知県	-	-	1	0.03	-	-	18	0.58	-	-	2	0.67	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	4	0.03	-	-	123	1.03	-	-	26	1.00	-	-	-	-	2	0.13
佐賀県	-	-	2	0.09	-	-	26	1.13	-	-	2	0.50	-	-	1	0.17	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	52	1.18	4	0.50	13	1.63	-	-	-	-	2	0.17
熊本県	-	-	6	0.13	-	-	68	1.42	-	-	17	1.89	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	143	3.97	-	-	8	1.60	1	0.09	-	-	-	-
宮崎県	-	-	2	0.05	-	-	49	1.32	1	0.25	18	4.50	-	-	-	-	1	0.14
鹿児島県	-	-	3	0.05	-	-	129	2.30	-	-	4	0.57	-	-	1	0.08	1	0.08
沖縄県	-	-	-	-	-	-	169	4.97	-	-	11	1.10	-	-	-	-	-	-

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成18年1週

	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻しん		RSウイルス 感染症 報告数
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	
総 数	1	0.00	-	-	984
北海道	-	-	-	-	10
青森県	-	-	-	-	18
岩手県	-	-	-	-	...
宮城県	-	-	-	-	6
秋田県	-	-	-	-	47
山形県	-	-	-	-	3
福島県	-	-	-	-	55
茨城県	-	-	-	-	5
栃木県	-	-	-	-	14
群馬県	-	-	-	-	7
埼玉県	-	-	-	-	23
千葉県	-	-	-	-	1
東京都	-	-	-	-	23
神奈川県	-	-	-	-	14
新潟県	-	-	-	-	24
富山県	-	-	-	-	1
石川県	-	-	-	-	4
福井県	-	-	-	-	8
山梨県	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	3
岐阜県	-	-	-	-	13
静岡県	-	-	-	-	44
愛知県	-	-	-	-	47
三重県	-	-	-	-	38
滋賀県	-	-	-	-	5
京都府	-	-	-	-	6
大阪府	-	-	-	-	70
兵庫県	-	-	-	-	60
奈良県	-	-	-	-	4
和歌山県	-	-	-	-	28
鳥取県	-	-	-	-	7
島根県	-	-	-	-	7
岡山県	-	-	-	-	16
広島県	-	-	-	-	86
山口県	-	-	-	-	43
徳島県	-	-	-	-	5
香川県	-	-	-	-	...
愛媛県	-	-	-	-	22
高知県	-	-	-	-	27
福岡県	1	0.07	-	-	66
佐賀県	-	-	-	-	6
長崎県	-	-	-	-	18
熊本県	-	-	-	-	41
大分県	-	-	-	-	6
宮崎県	-	-	-	-	31
鹿児島県	-	-	-	-	20
沖縄県	-	-	-	-	2

定点把握疾患表注釈

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(施行日:平成15年11月5日、IDWR週報2003年43号参照)により、定点把握疾患の対象疾患、分類、疾患名の記載方法が一部変更されました。

改正により「RSウイルス感染症」が追加されましたが、ゼロ報告も含めて報告自体がなされていない都道府県(...)が多く見られ、その報告はまだ十分ではありません。そのため、「感染症週報」の情報還元としては、報告数のみの掲載とします。宜しく御理解ください。

獣医師が届出を行う感染症と対象動物

平成16年10月1日より感染症法に基づく獣医師が届出を行う感染症と対象動物が追加されました。
*病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成18年1週

	エボラ出血熱		マールブルグ病		ペスト		重症急性呼吸器症候群*						細菌性赤痢		ウエストナイル熱		エキノコックス症	
	サル		サル		プレーリードッグ	イタチアナグマ		タヌキ		ハクビシン		サル		鳥類		犬		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

感染症週報 第8巻 第1号 平成18年1月20日発行
発行：国立感染症研究所
厚生労働省健康局結核感染症課
厚生労働省大臣官房統計情報部
事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
T E L : 03-5285-1111
F A X : 03-5285-1129
U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>
< 国立感染症研究所 感染症情報センター >
<http://www.mhlw.go.jp/>
< 厚生労働省 >
<http://www.forth.go.jp/>
< 旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所) >

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。